

大学・高専機能強化支援事業（支援 2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【高等専門学校】実施状況報告書

| | | | | | |
|---------|----------|-------|---------------|-------|--------------------------------|
| 年度 | 令和5年度 | 学校コード | G104110101041 | 改題内容 | 学習コース等の設置・増員（高専） |
| 高等専門学校名 | 仙台高等専門学校 | 設置区分 | 国立 | 事業計画名 | 仙台高等専門学校 高度情報専門人材育成・早期輸出機能強化事業 |
| 学校種 | 高等専門学校 | 設置形態 | 高度専 | | |

1.年度別の計画及び実施状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（設備整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画が変更又は追加、追加取組がある場合は取組状況を記載して記載してください。また、計画変更申請した場合は取組状況に承認済を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施遅滞等が事象発生等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画内容の実績までが、その他課題がない場合は遅延の記載は不要です。

| 事業年度 | 事業計画 | 取組状況 | 年度自己評価 | 自己評価、課題（理由）とその対応 |
|--------|---|--|--|------------------|
| 令和5年度 | <p>【情報系組織の入学予定】</p> <p>情報系組織の改組・増員前においては、入学定員は総合工学科全体として280名であり、専修・入学時は1期（情報系コース）120人。</p> <p>① 5月～ 情報系新コース設置に関する準備本編との調整、方針より詳細検討・整備。</p> <p>② 9月～ 学習改訂（コース変更明細）等内閣議、決定、情報系新コース設置 対外周知に向けた準備。</p> <p>③ 11月～ 情報系実務・特命教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>④ 11月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）契約、運用開始。</p> <p>⑤ 11月～ サラテラ教室 設置、整備、運用開始。</p> | <p>【情報系組織の入学予定】</p> <p>情報系組織の改組・増員前においては、入学定員は総合工学科全体として280名であり、専修・入学時は1期（情報系コース）120人。</p> <p>① 5月～ 情報系新コース設置に関する準備本編との調整、方針より詳細検討・整備。</p> <p>② 9月～ 学習改訂（コース変更明細）等内閣議、決定、情報系新コース設置 対外周知に向けた準備。</p> <p>③ 11月～ 情報系実務・特命教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>④ 11月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）契約、運用開始。</p> <p>⑤ 11月～ サラテラ教室 設置、整備、運用開始。</p> | <p>令和5年度自己評価</p> <p>【3】計画を十分に実施している。</p> <p>①情報系新コース設置に関する準備本編との調整、方針より詳細検討・整備、②学習改訂（コース変更明細）等内閣議、決定、情報系新コース設置、対外周知に向けた準備、③仙台駅前高度情報専門人材育成センター（仮称）契約は2月進捗確認等進捗は計画通り進捗していることである。</p> <p>④情報系実務・特命教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動に関して、情報系組織の改組および採用活動については、情報系専門分野の教員公募を実施する予定であったが、情報系新コースでは、情報系科目の教育については、コース特色のない高度情報専門コースへの教育を行う必要があるため、令和5年度は情報系専門分野の専任から予定候補者から人材を候補者として検討する予定であったが、様々な理由により採用が難しくなっており、採用活動は令和5年度に実施し、採用活動は令和6年度から実施する予定である。新コースの開始は令和6年度からであるが、1期には採用予定している教員は、企業等から採用し、1期から採用予定であるため、採用活動は令和5年度から実施する予定である。採用活動は令和5年度から実施する予定である。</p> | |
| 令和6年度 | <p>【情報系組織の入学予定】</p> <p>情報系組織の改組・増員前においては、入学定員は総合工学科全体として280名であり、専修・入学時は1期（情報系コース）120人。</p> <p>① 4月～ 情報系新コース設置に関する部科学費との調整、手続等。</p> <p>② 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）設備整備、運用開始、サラテラ教室運用。</p> <p>③ 4月～ 名取キャンパス内 高度情報専門人材育成センター（仮称）新編工事（初年度）。</p> <p>④ 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>⑤ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>⑥ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑦ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> | <p>【情報系組織の入学予定】120人</p> <p>6月 情報系新コース設置に係る部科学費への提出</p> <p>6月 情報系新コース設置に係る内閣議</p> <p>① 4月～ 情報系新コース設置に関する部科学費との調整、手続等。</p> <p>② 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）入居、設備整備、運用開始、サラテラ教室運用。（R7.3.26実施）</p> <p>③ 2月～ 名取キャンパス内 高度情報専門人材育成センター（仮称）新編工事（初年度）。（R7.3.26実施）</p> <p>④ 10月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。（R7.3.26実施）</p> <p>⑤ 4月～ 補佐員2名雇用、9月～ 補佐員1名雇用、授業設計、PBLが実施。（R7.3.26実施）</p> <p>⑥ 12月～ 情報系新コースで使用する教員の改組・整備。（R7.3.26実施）</p> <p>⑦ 3月～ オンライン授業開始（授業時間）（令和6年度実施））、授業録画ソフト（サーバー）×3機増設（令和7年度～令和8年度）。（R7.3.26実施）</p> | <p>令和6年度自己評価</p> <p>【3】計画を十分に実施している。</p> <p>①情報系新コース設置に関する部科学費との調整、手続に関して、計画通りに実行することができ、仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）については、サラテラ教室・学習改訂の準備は進捗していることであるが、新コース学生の入学準備は完了して、仙台からの本格的な入学準備は進捗していることである。また、名取キャンパス内 高度情報専門人材育成センター（仮称）新編工事（初年度）については、物産館による作業、材料費等の確保により、当初計画通り進捗していることである。また、企業等から採用予定している教員は、企業等から採用予定していることである。また、企業等から採用予定している教員は、企業等から採用予定していることである。また、企業等から採用予定している教員は、企業等から採用予定していることである。</p> | |
| 令和7年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）</p> <p>① 4月～ 設置する情報系新コース開始。</p> <p>② 4月～ 名取キャンパス内 高度情報専門人材育成センター（仮称）新編工事（2年度）運用開始。</p> <p>③ 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>④ 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>⑤ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>⑥ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑦ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> | <p>① 4月～ 設置する情報系新コース開始。</p> <p>② 4月～ 名取キャンパス内 高度情報専門人材育成センター（仮称）新編工事（2年度）運用開始。</p> <p>③ 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>④ 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>⑤ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>⑥ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑦ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |
| 令和8年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）※入学定員増減無し。</p> <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |
| 令和9年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）※入学定員増減無し。</p> <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |
| 令和10年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）※入学定員増減無し。</p> <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |
| 令和11年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）※入学定員増減無し。</p> <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |
| 令和12年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）※入学定員増減無し。</p> <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |
| 令和13年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）※入学定員増減無し。</p> <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |
| 令和14年度 | <p>総合工学科 Ⅱ類 情報・創造コース（入学定員30名）※入学定員増減無し。</p> <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>① 4月～ 仙台駅前 高度情報専門人材育成センター（仮称）運用、サラテラ教室運用。</p> <p>② 4月～ 情報系実務教員および企業講師確保に関する調査、説明会、採用活動 実施。</p> <p>③ 4月～ 実働教員1名雇用、実働教員による授業実施。</p> <p>④ 4月～ 特命実務教員1名による授業実施。</p> <p>⑤ 4月～ 企業講師と連携した企業課題PBL 授業実施、補佐員2名による事務・技術指導。</p> <p>⑥ 8月 授業録画システム、メンテナンス。</p> | <p>○年度自己評価</p> <p>以下から選択してください。</p> | |

| | | | |
|-------------|-------|---------|----------|
| フォローアップ対象年度 | 令和5年度 | 高等専門学校名 | 仙台高等専門学校 |
|-------------|-------|---------|----------|

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- ii) 学校教育法第123条で準用する第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

3. 申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

| | | | | | | |
|-----------------------|---|-----------------------|--|----------|-------------------------------|--|
| ① | 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた高等専門学校であること。なお、新設予定の高等専門学校で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 確認を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | 対象に該当しない | <input type="checkbox"/> チェック | |
| 確認を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| 対象に該当しない | <input type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ② | 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ③ | 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び高等専門学校での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。） | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ④ | 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑤ | 計画の対象となる学科・コース等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑥ | 特定成長分野のうち情報系分野に係る学科・コース等の設置・増員（学科の定員の増員を伴わないものを含む。以下「学科・コース等の設置等」という。）を行う計画であり、学位種類分野変更基準に定める工学関係の学位の分野に係るものであること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学期において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑦ | 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学科・コース等の設置等の取組であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑧ | 機操による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学科・コース等の設置等を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑨ | 計画の対象となる学科・コース等の設置等において、20名以上の入学定員の増員を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑩ | 国立高等専門学校について、学校全体の収容定員の増員を伴う学科定員の増員を行う場合は、定員増を行った日から10年を経過した日までに、他学科・他コース等を中心と同規模の定員減を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑪ | 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |

| | | | |
|-------------|-------|---------|----------|
| フォローアップ対象年度 | 令和6年度 | 高等専門学校名 | 仙台高等専門学校 |
|-------------|-------|---------|----------|

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- ii) 学校教育法第123条で準用する第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による適近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する高等

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

3. 申請要件の取組状況

令和6年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

| | | | | | | |
|-----------------------|---|-----------------------|--|----------|-------------------------------|--|
| ① | 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた高等専門学校であること。なお、新設予定の高等専門学校で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">確認を受けている</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>対象に該当しない</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 確認を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | 対象に該当しない | <input type="checkbox"/> チェック | |
| 確認を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| 対象に該当しない | <input type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ② | 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ③ | 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び高等専門学校での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。） | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ④ | 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑤ | 計画の対象となる学科・コース等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑥ | 特定成長分野のうち情報系分野に係る学科・コース等の設置・増員（学科の定員の増員を伴わないものを含む。以下「学科・コース等の設置等」という。）を行う計画であり、学位種類分野変更基準に定める工学関係の学位の分野に係るものであること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学期において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑦ | 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学科・コース等の設置等の取組であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑧ | 機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学科・コース等の設置等を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑨ | 計画の対象となる学科・コース等の設置等において、20名以上の入学定員の増員を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑩ | 国立高等専門学校について、学校全体の収容定員の増員を伴う学科定員の増員を行う場合は、定員増を行った日から10年を経過した日までに、他学科・他コース等を中心と同規模の定員減を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑪ | 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |

| | | | |
|-------------|-------|--------|----------|
| フォローアップ対象年度 | 令和6年度 | 高等専門学校 | 仙台高等専門学校 |
|-------------|-------|--------|----------|

| | | | |
|---|---|--|--|
| ② | 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・A 1 教育プログラム認定制度における「リテラシーレベル」の認定を受けていること。 | | |
| | 認定を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | |
| | 認定を受ける計画が進んでいる | <input type="checkbox"/> チェック | |

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合は、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行っているか。

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|--|-------------|
| <p>新設する高度情報専門人材育成センター（仮称）が中核拠点となり、情報系新コースの加枠プログラムで自治体や企業等と連携した取組を行う。回遊型加枠プログラムを構築してPBL授業、インターンシップ、卒業研究テーマとして取組み、現場で課題発見解決する。</p> <p>→仙台高等専攻科で約10年実施しており「実証を得ている課題解決型インターンシップ」を情報系新コース（3、4年生）でも実施する。</p> <p>→各自治体と仙台高等専攻科で連携協定の枠組み等を活用して、地域の文化会館、体育館、児童館や仙台科学館等において出前授業やイベント活動、研究紹介を行い、優秀な生徒を発掘して育成する。（ジュニアドクター育成塾のノウハウ活用）</p> <p>→企業等と連携した取組として、仙台高等の企業同友会である「産学連携振興会」との連携を深化させる。情報系新コース卒業学生の地域企業就職、共同研究を拡大するとともに、本取組に賛同する企業の資金提供による持続可能な運営システムを確立する。</p> | <p>令和6年度における取組実績は以下のとおりである。</p> <p>→仙台駅前的高度情報専門人材育成センター（仙台ベース）の整備が完了し、令和5年度より意見交換を行っている各連携団体のほか、仙台ベースと同じアーバンネット仙台中央ビルに入居している情報連携企業と、新コース学生を対象とした集中講義についての調整を行うなど、令和7年度からの新コース入学生による回遊型教育の展開に向けた準備を行った。</p> <p>→令和5年度に引き続き、包括連携協定を締結している地元名取市との協働公開講座として、3Dモデリング体験講座や「なり共創ラボ」への参画を行った。また、仙台科学館の改修工事のため合同イベント「仙台高等まるごとフェア」は実施できなかったが、令和7年度の開催に向けて仙台科学館等と調整を進めている。</p> <p>→産学連携振興会会員企業に対し、仙台高等の改組ならびに情報系新コースで展開する回遊型教育について説明を行い、仙台高等産学連携振興会企業と連携の可能性について協議した。</p> | 特に無し |

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行っているか。

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|--|---|-------------|
| <p>これまで実績が効果的実証されている小学校、中学校、高等学校と連携した具体的な取組を基に、更に拡大実施する。</p> <p>→次世代を担う人材育成を共同実施する。実績のある出前授業やサークル活動、研究紹介を行い優秀な生徒を発掘・育成する。</p> <p>* 3Dジュニアドクター育成塾（H29～R3）で培ったノウハウを活用する。</p> <p>→小学校、中学校と一緒に発掘・育成した人材を「特別選抜枠」として情報系新コースへ入学・獲得する。</p> <p>→地域の教育委員会と連携して、小学校、中学校、高等学校教員の情報教育スキルアップを行う研修を実施し積極的な支援する。</p> | <p>令和6年度における取組実績は以下のとおりである。</p> <p>→連携先である仙台科学館の改修工事のため令和6年度は合同イベントを実施することができなかったが、仙台科学館と協議を行い、令和7年度中に合同イベントを実施することを決定した。また、移動体験教室「理科シニア」に関しては、コロナの影響により学生スタッフが不足していたため、令和6年度中の活動ができなかったが、学生スタッフ数を増やすことができたため、令和7年度の派遣事業の復活に向けて準備を行った。</p> <p>→11月に第1回目の特別選抜入試「自己推薦による特別選抜」を実施し、計画どおり10名の特別選抜生を獲得した。令和7年度も引き続き特別選抜を実施する予定である。</p> <p>→令和5年度に引き続き、名取市教育委員会との連携による名取市内中学校の理科教員に対する研修会を実施した。</p> | 特に無し |

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|--|-------------|
| <p>女子学生確保として、①Webデザイン、化学、保健・美容、建築デザイン、農業など、女子学生が興味を持つ分野に関する企業等との連携による授業構成、②ビジネス・経営・マーケティング教育を充実させた文理融合による加枠プログラム構築・実施、③新設コースにおけるキャリアパスについて女子中高生や保護者への説明会開催といった取組を行い、仙台高等全体で多岐にわたる積極的な広報活動による周知・理解を行い増進を図る。</p> <p>→女子学生確保として、よりキャリアを希望する社会人に対して、世界的な潮流にむつまつある①マイクロレゾナンス制度適用による希望に応じた分野・授業の集中的学習、②オープン/クローズド取得による学習履歴のデジタル証明といった取組を仙台高等が先導して行い、多くの高専へ展開する。</p> <p>留学生確保として、協定を締結しておりデジタル人材を強く欲しているモンゴル高専、タイ高専を中心に、連携企業との課題解決型インターンシップをはじめとする実践的な取組を行い留学生を拡充採用する。</p> | <p>令和6年度における取組実績は以下のとおりである。</p> <p>→女子学生確保：令和5年度に検討した情報・創造コースへのデジタルデザインならびに文理融合科目であるライフサイエンスを導入し、仙台高等2期改組について設置認可申請を行った。加えて、仙台高等HPの整備を行った。</p> <p>→社会人学生確保：令和5年度に引き続き、リカレント教育およびマイクロレゾナンス制度に関する情報収集を行い、導入に向けた検討を進めている。</p> <p>→留学生確保：タイ高専教員研修を実施し、また、産学連携振興会企業へのモンゴル高専学生のインターンシップ派遣について協力を行った。インターンシップの説明や外国人選抜に関する打ち合わせは継続して実施している。</p> | 特に無し |

④ 他の大学（外国大学を含む）、高等専門学校等と連携した取組を行っているか。

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|---|-------------|
| <p>「高度情報専門人材育成センター（仮称）」を組織編成して、企業人材や東北地区高専・大学の学生、教員が集まりやすい仙台駅前教育研究環境を整備する。本センターが情報系新コースの教育研究・人材育成拠点となり多くの大学・高専と効果的連携を行う。</p> <p>→オンライン/オンデマンド授業による単位互換制度を拡充する。</p> <p>→仙台駅前的高度情報専門人材育成センターで共同イベント/シンポジウム、サマースクールの開催し学生間や企業と交流の場とする。</p> <p>→課題解決型インターンシップを東北地区をはじめとする多くの高専へ展開し、共同実施する。</p> <p>→協定を締結しているモンゴル高専、タイ高専をはじめとする留学生をはじめ、多くの大学・高専の留学生と企業との連携強化を行う。</p> <p>→情報系アントレプレナー教育を連携して実施する。</p> | <p>令和6年度における取組は以下のとおりである。</p> <p>→仙台駅前の「高度情報人材育成センター（仙台ベース）」の運用開始に向けた環境整備を行い、学内関係者向けに仙台ベースの内覧会を実施した。</p> <p>→仙台ベースにおいて、令和7年度以降に実施予定の共同イベント/シンポジウム、サマースクールの試行として、在学生によるPBL発表会を実施した。</p> <p>→仙台ベースを設置したアーバンネット仙台中央ビルの同フロアに東北工業大学もサテライトを設置したことで、日常的に相互に交流して連携を深めている。</p> <p>→日本経営工学会東北支部大会を仙台ベースで開催し、入学前の合格内定者の入活動として参加・聴講させて他大学の教員、学生と交流させた。</p> <p>→名取市をフィールドとした活動を始めるにあたって甲種田大の研究室と意見交換を行って、同大学の名取市のフィールドワーク報告会に関わるなど連携を深めている。</p> <p>→大崎市の産業をフィールドとした活動を始めるにあたって宮城大学の教員らと大崎市を訪れ、副市長らと意見交換を行って3機関の連携を深めている。</p> <p>→令和7年度には仙台ベースにおいて回遊型教育を開始し、情報系アントレプレナー教育体制の構築を行う予定である。</p> | 特に無し |

⑦ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・A 1 教育プログラム認定制度について、申請要件である「リテラシーレベル」に係る要件を満たすのみならず、更に「応用基礎レベル」の認定を受けている。又は「応用基礎レベル」の認定を受ける計画があるか。

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|---|-------------|
| <p>数理・データサイエンス・A1教育認定制度について、仙台高等全体として「応用基礎レベル」の認定を受ける。具体的に令和6年度（令和6年度）の「応用基礎レベル」申請・認定に向け、今年度（令和5年度）より3つの基本要素とモデルカリキュラムの各項目を満足できる授業科目およびカリキュラムの詳細を検討する中で進めている。今回拡充設置する情報系新コースは、設置済みの電気電子・材料・機械・建築系コースと連携企業等の相乗効果を図ることで、デジタル分野とものづくりの知識・スキルを融合して展開できる優秀な人材を育成・早期輩出する。更に、企業等が抱えている実際の現場での課題を情報・AI-DXを活用することで学生が発見し解を導く実践的カリキュラムを構築する。つまり「応用基礎レベル」で求められるAI応用力の習得である「AIx専門分野のダブルメジャーの促進」、「AIで地域課題等の解決ができる人材育成」をまさに効果的に実現できる内容であり、成果を保証できる。</p> | <p>令和6年度における取組実績は以下のとおりである。</p> <p>→数理・データサイエンス・A1教育認定制度について、広瀬キャンパスではすでに「応用基礎レベル」に必要な科目が整備されており、仙台高等全体として「応用基礎レベル」の認定を受けるため、情報と創造コースの設置に伴う2期改組において、名取キャンパスの開講科目で要件を満たす科目の整備を行った。加えて、2期改組の前年度である令和6年度においては、集中講義により「応用基礎レベル」に必要な科目を開講し、令和6年度の認定を受けた。</p> | 特に無し |

| | | | |
|---------|----------|------|-------------------|
| 高等専門学校名 | 仙台高等専門学校 | 改組内容 | 学科・コース等の設置・増員（高専） |
|---------|----------|------|-------------------|

4.外部資金の状況（全学）

| 年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 |
|---------|------|---------|---------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部資金獲得額 | 千円 | 177,410 | 171,910 | *** | | | | | | | | | | | | | | | |

特記事項

・1. 本事業対象となる情報系組織の状況について、入学後2年間は所属コースを定めなため、入学定員を入学者数及び在籍者数とみなす。
 ・総合工学科のR5～7年度の編入学定員の0人とは若干名を意味している。